



【野菜の栽培を通して】

ほし組・にじ組では、カブやダイコン、コマツナ、ニンジン、キヌサヤ、ソラマメなど、いろいろな野菜を育てています。



【種を見る】

種の形を比べて、カブとコマツナの種が似ていることや、ニンジンの種は丸くないことなどに気付いていました。



【世話をする】

最初は順調に育っていたのですが、青虫に葉を食われてしまい、生長が止まってしまいました。そこで、どうしたらよいか子どもたちと考え、虫よけのネットを付けたり、青虫を取ったりしました。（取った青虫は飼育ケースに入れて間引きした葉をあげました。蛾やモンシロチョウになりました。）

【変化に気付く】

毎日野菜の水やりをし、葉についた虫や雑草を取り、世話をする中で、野菜が少しずつ生長していることに気づき、教師や友達に話す姿が見られました。友達の話を聞いたことで、興味をもって見に行く幼児もいました。



10日(水)に、各学級でカブの収穫をしました。大きさや形の違いや、虫に食われていることなどに気付きました。収穫したものを栄養士の佐藤先生に調理をお願いし、塩もみにしてもらって給食のときに食べました。

日々世話をする中で、子どもたちは様々なことに気づき、考えています。

教師や周りにいる大人と一緒に見て、考えて、面白がることが、「よく見てみよう」「こっちはどうなっているのかな?」「見付けたものを話したい」など子どもたちの見る・考える・話す力につながっていきます。これからも一緒に楽しみながら、自然や栽培物に触れる機会を大切にしていきます。

ご家庭でも、お子さんの思いや気づきを受け止めてくださり、ありがとうございます。また、野菜の復活のためにアドバイスをくださった方、心配して様子を見てくださった方、ご協力いただきありがとうございます。

【プロナチュラリスト・佐々木洋先生の自然体験教室】

プロナチュラリストの佐々木洋先生は、9月にこども園に来ていただき、職員に園庭の生き物や自然について講義をしてくださいました。今回は、佐々木隊長として、子どもたちと一緒に園庭を歩き、子どもたちの発見も取り上げながら、いろいろなことを教えてくださいました。

○イチヨウの葉は、スカートの形とズボンの形、2種類あること。

○シュロの木のもじゃもじゃは、春にカラスが巣作りに使うこと。

○園にいるカメムシやテントウムシの名前や、カメムシはとてもくさいこと。

○ダンゴムシのすみかを作るにはどうしたらよいか、足は何本あるか。 など

園庭の普段行かない場所や、普段は何気なく通り過ぎている場所にもたくさんの発見がありました。



～生活習慣のポイント～ 『年末年始の挨拶をしてみよう！』

年末は、日本ではお世話になった人に「よいお年をお迎えください」と今年一年の感謝の気持ちを伝える挨拶があります。また、新年には、「あけましておめでとうございます」と、新しい年が来たことを祝う挨拶があります。他にも、それぞれの国の言葉で新しい年を祝う挨拶がありますね。普段はあまり使わない挨拶ですが、この機会に子どもたちも年末年始ならではの挨拶を知ったり、家族や身近な人に自分から挨拶をしたりできるといいと思います。

12月生まれのおともだち おたんじょうびおめでとう！

